

「とっとりグリーンウェイブ」

PRに係る砂像制作

D A T E | H25

P L A C E | 兵庫県立美術館

C L I A N T | 鳥取県総務部関西本部

C O N T E N T S | 設計・施工・維持管理

C O L L A B O R A T I O N | 砂の美術館砂像マイスター（砂像彫刻）

本作品は「鳥取砂丘」や「山陰海岸ジオパーク」など、水と緑あふれる風土を有する鳥取県の魅力、さらには近年オープンした世界初の屋内型砂像専用美術館「砂の美術館」など、多くの観光資源を有する鳥取県の魅力を広く県外へPRすること、県外の方々が鳥取県に訪れる“きっかけづくり”を行うことを目的とし、平成25年6月8日から9月1日までの83日間、兵庫県立美術館において近年の鳥取の風土、文化を表象する砂像を製作・展示したものです。

また、展示期間は同年秋に開催された「第30回全国都市緑化とっとりフェア」の開催直前の期間にあたり、その県外PRも兼ねています。

制作にあたっては、鳥取から運搬した「砂」を使用し、従来の砂像の制作・展示に留まらず、草花等の植物の融合した作品を制作し、“観光資源と緑とのコラボレーション”“砂像芸術の進化”に挑戦したものです。

鳥取を象徴する「砂像」と「植物」で表現する神話「因幡の白兔」

